

## 蚕を通して地域の 伝統文化を学ぶ

### 名森小学校蚕受け渡し式

6月1日(木)、名森小学校で蚕の受け渡し式が行われました。

同小学校では伝統的に4年生が1年間蚕の世話を通じて、昔、名森地区で行われていた養蚕業について学ぶとともに、その過程で収集した蚕の糸に植物の染料を用いて色付けしたものを使い、組み紐を作成しています。

この日は、校長先生から自分たちが世話をする約800頭の蚕を受け取りました。

初めて見る蚕に少し驚く児童もいましたが、一生懸命桑の葉を食べている小さな蚕に触れる児童もいました。



1



2



3

- ①優しく蚕に触れる
- ②この板の上に約800頭の蚕がいます
- ③桑の葉の上を元気に動くたくさんの蚕

## 訓練の積み重ねが 命を救う

### 中組地区防災訓練

5月21日(日)、中組地区で13回目となる防災訓練が行われました。今回は避難所開設を主な訓練と位置付け、自主防災隊による避難所を開設しました。

「避難者カード」を使って受付をし、避難者の把握、安否確認など、災害時に地区としてできることは何かを考えながら訓練が行われました。

また、大垣消防組合中消防署東分署の協力によるAEDを使った蘇生訓練、風呂敷・三角巾を用いた応急処置のやり方、棒と毛布を使用した簡易タンカの作成といった講習がありました。

また、小学校に設置してあるセーフティタワーを使用した給水訓練も行われました。

- ①避難所で受付をする参加住民
- ②AEDの使用方法を学ぶ
- ③約40トンの水が貯蔵されるセーフティタワー



1



2



3